

地域未来創造会議（上益城地域）議事概要

- 1 日 時 令和7年1月23日（金） 15：30～17：15
- 2 場 所 上益城地域振興局 3階大会議室
- 3 出席者
 - （1）市町村長
藤木御船町長、鍋田嘉島町長、西村益城町長、甲斐甲佐町長、坂本山都町長
 - （2）県議会議員（オブザーバー）
住永議員
 - （3）県
[本庁]
木村知事、沖企画振興部政策審議監、若杉地域振興課長、阿南市町村課長 他
[地域振興局]
山内地域振興局長、浦田地域振興局次長、永田総務振興課長 他
- 4 議事内容
 - （1）知事から ～上益城地域の未来への想い～
 - （2）市町村長からコメント
 - （3）意見交換
- 5 会議資料 別添のとおり

概 要

会議では、人口増減問題、九州中央に位置する強み、スポーツ施設の連携、台湾との交流、高校魅力化等の教育問題に関すること等が話し合われた。主な意見は次のとおり。

1 人口増減問題、九州中央に位置する強み など

- ・ 人口は増加傾向だが、中山間地域の活性化が大きな課題。上益城は九州の中央部に位置し伸びしろがある。南九州の拠点として誘致した商業施設では鹿児島、宮崎からも外貨を得ており、宮崎からの移住者も増えている。
- ・ 人口が増加傾向にあり、学校の増築など新たな課題に対応していく必要。コンパクトシティを目指し、土地区画整理事業で住みやすい町として人を呼び込みたい。渋滞解消も課題で、九州中央にある嘉島JCTをミニハブとして活用できると思う。
- ・ 熊本都市圏へのアクセス性を最大限に活かしながら住環境の整備や企業誘致に取り組む。その際の各種規制が課題。渋滞対策も含めて、国、県、町が一体となった道路整備が必要。空港周辺のにぎわいづくりも進めていきたい。
- ・ 人口は微減。第一の課題は少子高齢化の進展。若い世代の移住定住促進のため、子育て支援策を実施中。民間アパートが少ないので開発補助金を創設。今後促進していきたい。
- ・ 人口は激減しているが、自然の中で暮らしたい若い世代を受け入れていきたい。有機農業も進めていく。町は九州の中央に位置し、清和文楽や通潤橋などで宮崎からも人を呼び込める素材がある。九央道開通で町が変化している実感がある。

2 スポーツ施設の連携

- ・ 上益城は施設が充実。熊本市からの利用も多い。大規模サッカー大会などを誘致し、地域内で分散開催することもできる。維持管理の面も考えていく必要があるが、5町で連携しやすい環境にある。

3 台湾との交流

- ・ 台湾の中小企業を対象に企業誘致を進めている。
- ・ 友好協定等を締結し、相互交流を進めていく。

4 高校魅力化等の教育問題

- ・ 地元の高校は、特色ある学科や部活動などで魅力化に努めている。町も補助をはじめ高校生に町行事に参加してもらうなど、高校と連携した取組を実施。
- ・ 部活動については情操教育の面で重要だが、学校の先生達が大変な状況なので、外部講師を招聘できればと思う。
- ・ これまで高校魅力化に対しては継続した支援を行っており、今年度も新たな取組みを含め、副町長を中心に進めている。
- ・ 義務教育の面では少子化による廃校の利活用も課題。地元高校では県外から生徒を受け入れているが、寮として利用している施設の老朽化が著しく、寮の整備対策が喫緊の課題。

今回の会議内容を基に、次の事項について引き続き県と各町で事務的に今後の展開等を検討していくこととなった。

- (1) インバウンドによる経済効果を地域全体に波及させるため、九州の中央に位置し、空港が所在する強みを活かした観光資源の磨き上げや周遊化等の検討
- (2) 各町施設の相互利用等による広域的なスポーツ振興の検討
- (3) 各町の強みを活かした台湾との交流
- (4) 各校の特色を踏まえた更なる高校魅力化に向けた取組の推進

(以上)